

トイレ節水システム
形式:EET-605T (TOTO用)
:EET-605N (INAX用)

サービスマニュアル

第3版 2014年11月

SENSORET.F
センサレット



目 次

1. 仕 様	-----	1
・セールスポイント		
・動作概要		
2. 各部のなまえとはたらき	-----	2
・各部名称		
・動作フロー		
3. 取付け適用範囲	-----	3
4. 不具合対応	-----	4
4-1. 簡易不具合対応フロー	-----	4
4-2. 簡易不具合対応内容	-----	5,6
5. 給水部の取付け・取外し方		
図① 給水部の外し方	-----	7
図② 給水部の取り付け方	-----	8
図③ 上・下ケースの取り付け及び配線	-----	9
6. 点検方法		
図① 電池交換の方法	-----	10
図② リセットの方法	-----	10
図③ 水量調整の方法	-----	11
図④ 人体検出センサーの調整方法	-----	12
図⑤ 人体検出センサーの角度調整方法	-----	12
図⑥ 電磁バルブの外し方	-----	13
図⑦ ピストンバルブの点検	-----	13
図⑧ 電磁バルブ点検方法	-----	13
図⑨ 排水パイプの点検方法	-----	14
図⑩ 標準取付図	-----	14
7. 交換可能部品一覧	-----	15
8. オプション一覧	-----	16

1. 仕様

型 式	EET-605T (AC/DC) 型 (TOTO仕様) EET-606N (AC/DC) 型 (INAX仕様)	
定 格 電 圧	DC6V	
電 源	DC仕様 : リチウム電池 (CR-P2/1本) AC仕様 : AC100Vコンセント式 (コード長1.4m)	
セ ン サ ー	赤外線反射方式	
感 知 距 離	使用者感知 : 30~100センチ (任意設定) 手感知 : 約3センチ (固定)	
洗 浄 時 間 ※	小水量洗浄	2, 3, 4, 5秒 (任意設定) (初期設定2秒)
	大水量洗浄	5, 7, 8, 10秒 (任意設定) (初期設定7秒)
	設備保護洗浄	有 (便器の配管の乾き防止の為)
給 水 圧 力	0.07MPa~0.75MPa	
消 費 電 力	DC仕様 : 100人/日にて約2年 AC仕様 : 消費電力 1W以下	
重 量	1.5Kg	
電 磁 弁	パイロット方式パルス通電開閉式	
周 囲 温 度	0~40℃ (水温1~50℃、屋内)	

※ 給水圧力に応じ電磁弁の開放時間を設定します。

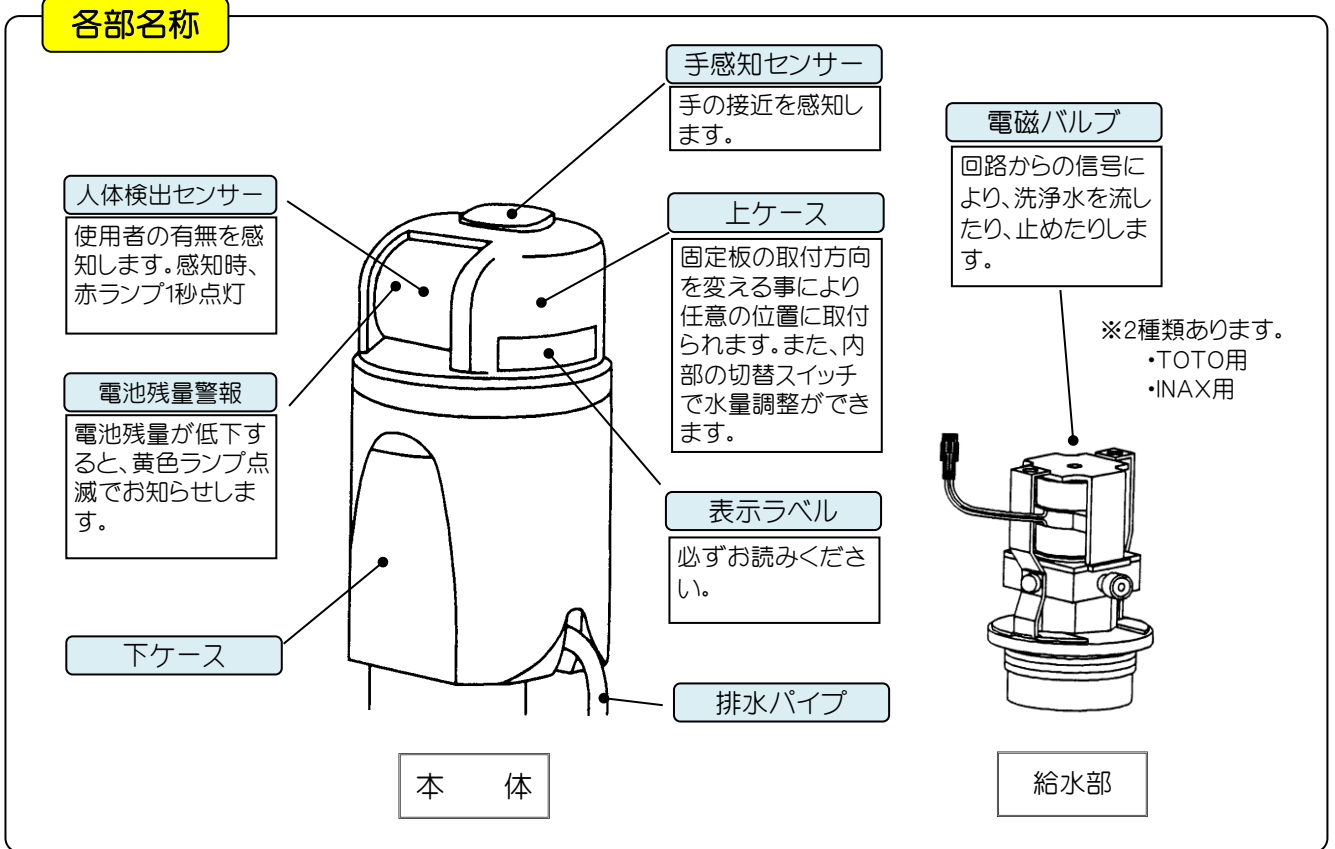
セールスポイント

- ◇ 導入したその時から節水可能。
(マイコン制御で大用・小用を自動判別し水量をコントロール)
- ◇ 超小型、軽量化により、スペースをとりません。
- ◇ 電池採用により、電源工事が不要です。
- ◇ AC仕様でもコンセントが近くにあると直ぐに取付できます。
- ◇ 既設フラッシュバルブに簡単に取付けが可能です。

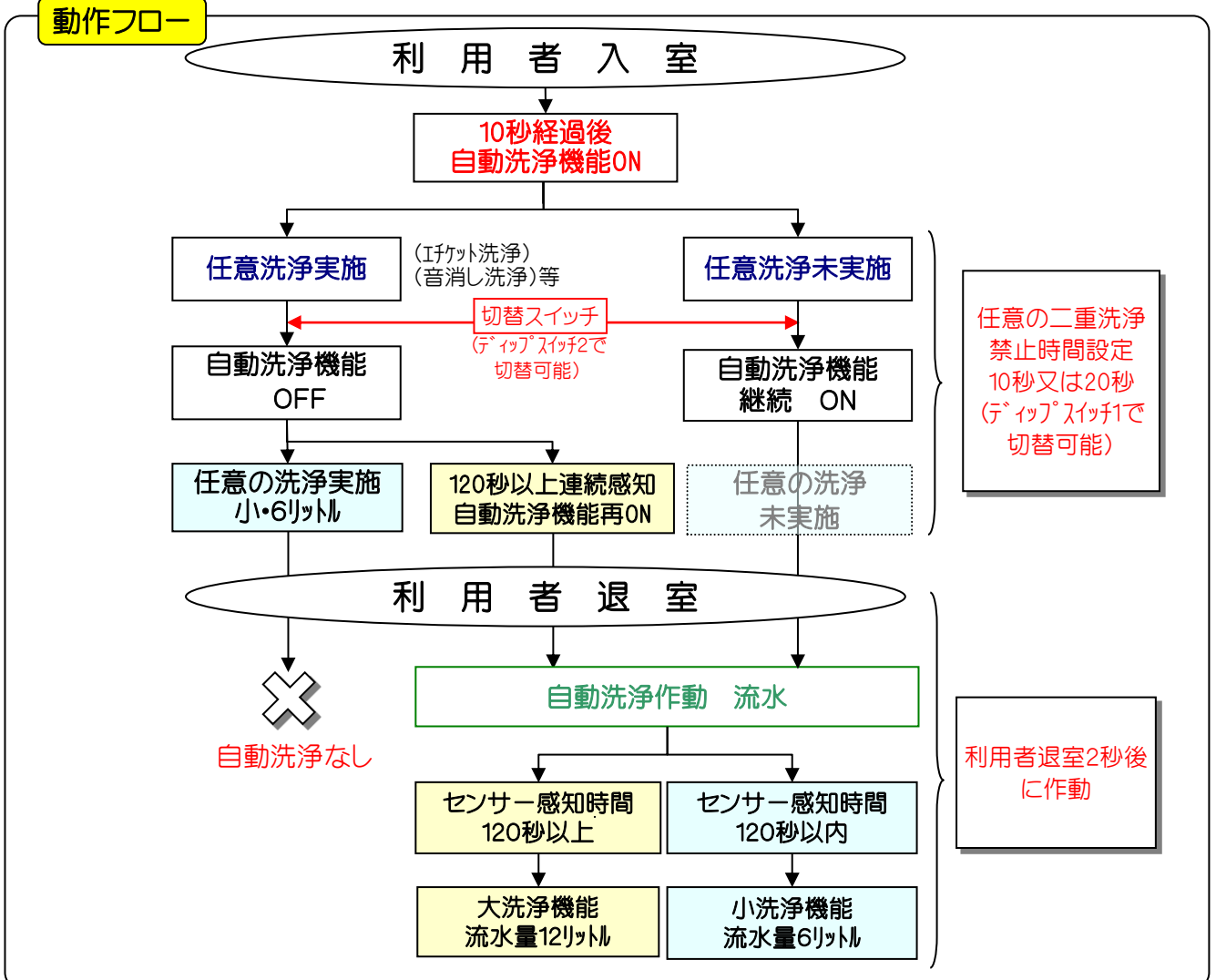
動作概要



2.各部のなまえとはたらき

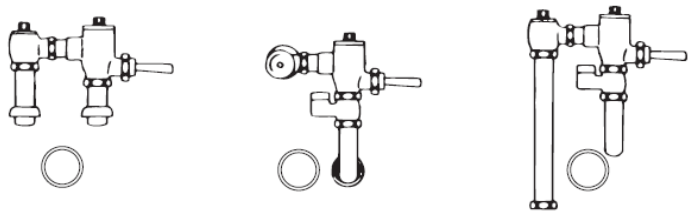
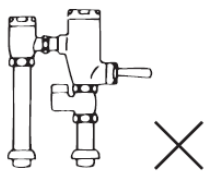
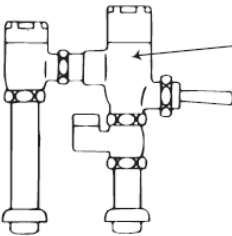
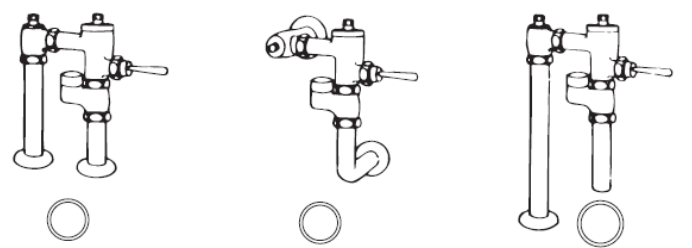
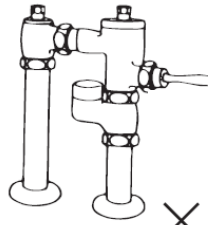
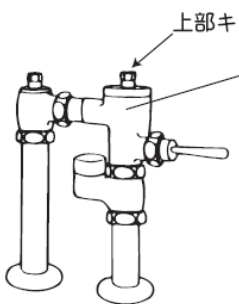
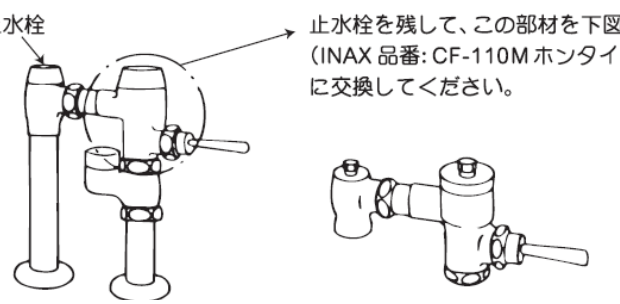


動作フロー



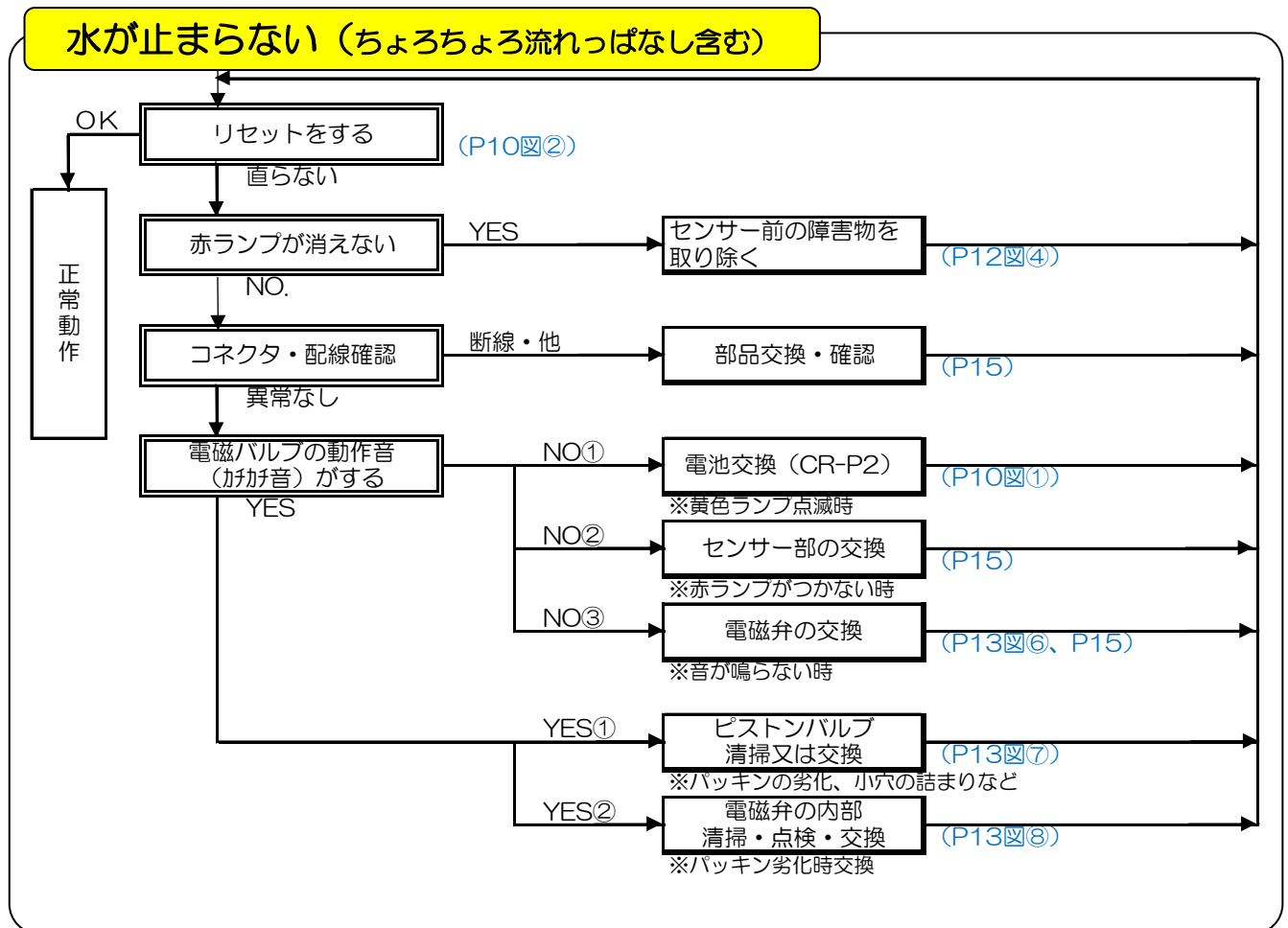
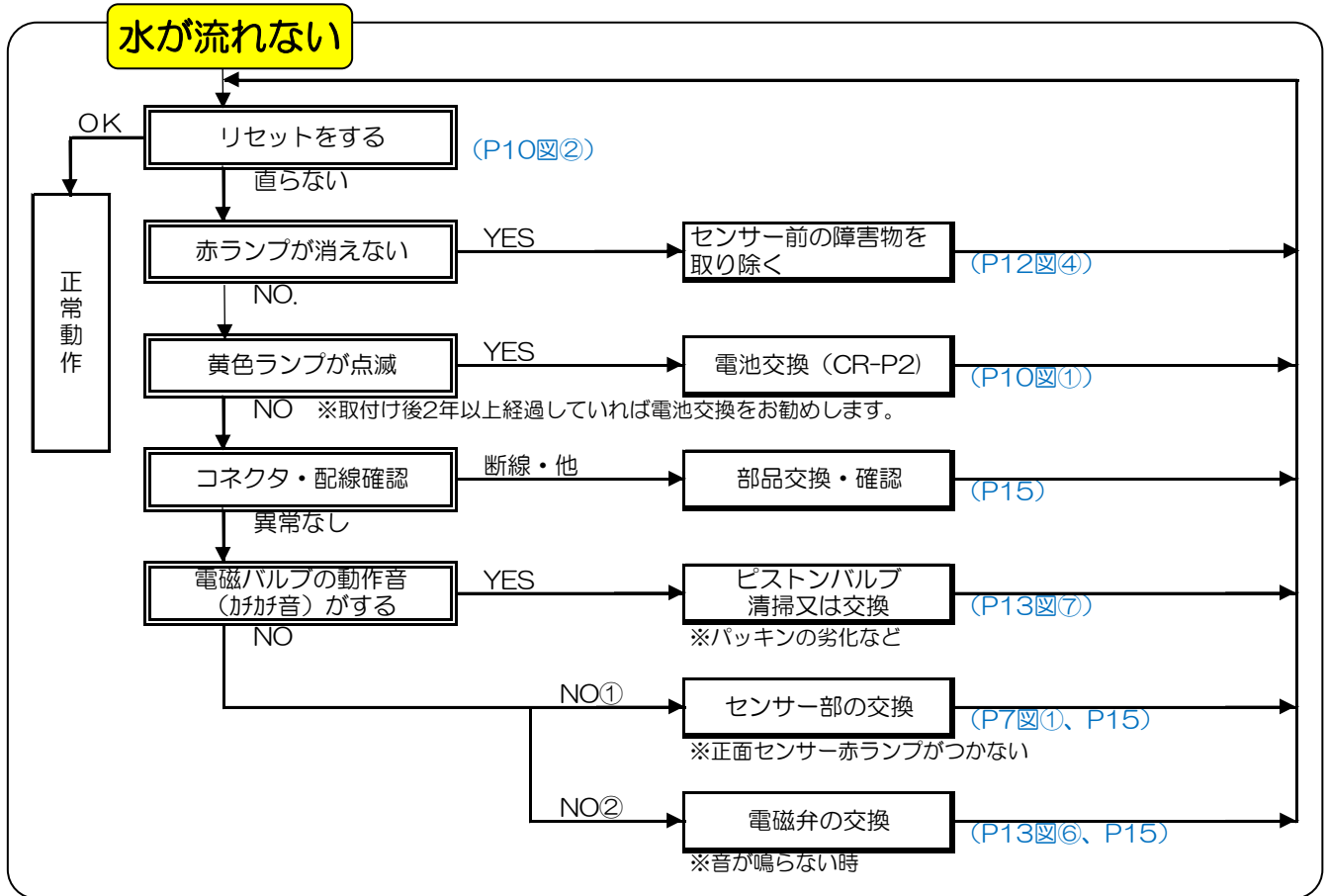
3.取付適用範囲

フラッシュバルブのメーカー（TOTO、INAX）に合わせ、2種類用意しましたので、既設のフラッシュバルブをよく確認の上、お選び下さい。

形 式	適合 フラッシュバルブ	対応方法及び外観図	取付不可
EET-605T型	TOTO 普通型		<p>(注) 昭和53～57年製の節水型フラッシュバルブは、本機の取り付けが出来ません。 フラッシュバルブの交換が必要です。</p> 
	TOTO 節水型	 <p>ここに内蔵されているピストンバルブ(TOTO品番: TH328R)を普通型フラッシュバルブ用ピストンバルブ(TOTO品番: THY320)に交換してください。</p>	
EET-605N型	INAX 普通型		<p>(注) 昭和53年7月以前の普通型フラッシュバルブは、本機の取り付けが出来ません。 フラッシュバルブの交換が必要です。</p>  <p>(注) ハンドルの形状がヒョウタンに近いのが特徴です。</p>
	INAX 節水型	<p>①旧型タイプ(昭和53年7月製以降)</p>  <p>上部キャップ ここに内蔵されているピストンバルブ(INAX品番: A-575)を普通型フラッシュバルブ用ピストンバルブ(INAX品番: A-580)に交換してください。 (注)普通型フラッシュバルブと外観上の違いは、上部キャップに(-)ネジが付いていないのが特徴です。</p> <p>②新型タイプ(平成3年6月製以降)</p>  <p>止水栓 止水栓を残して、この部材を下図(INAX品番: CF-110Mホンタイ)に交換してください。</p>	
<p>お知らせ</p>		<p>フラッシュバルブ内部のピストンバルブは、本品と同時に交換されることをお勧めします。 (ピストンバルブが古いと、洗浄水量が不安定になることがあります)</p>	

4. 不具合対応

4-1. 簡易不具合対応フロー



4-2.不具合対応内容

現象	原因	処置方法	対応方法		備考
			点検	交換	
水が流れない	既設フラッシュバルブの止水栓が閉めてある。	止水栓を開いてください。	○		
	指定のピストンバルブでない。	指定のものに交換してください。	○		P.13(図7)
	電池が消耗している。 (黄色ランプ点滅)	電池を交換してください。 (型式:CR-P2) ※取付け初期や設定変更時はリセットしてください。	○	○	P.7(図1) P.10(図1②)
	リード線コネクタが外れている。	コネクタを接続してください	○		P.9(図3)
	リード線が断線している。	部品を交換してください		○	P.15 (交換部品①③⑤)
	初期調整不良。 (赤色ランプ点灯したまま)	センサー前の障害物を取り除いて再度リセットをしてください	○		P.12(図4⑤) P.10(図2)
	排水パイプに異物が詰まっている。	異物を取り除いてください。	○		P.14(図9)
	ピストンバルブの動きが悪い。	ピストンバルブを新品に交換してください。		○	P.13(図7)
	電磁バルブの不良。 (カチカチ動作音がしない)	電磁バルブの交換をしてください。		○	P.13(図6) P.15(交換部品⑤)
	人体センサーの角度がずれている。	センサー角度を調整してください。	○		P.12(図5) P.14(図10)
	センサー回路部の異常。	リセットして直らない場合は交換してください。	○	○	P.15(交換部品①)
センサー窓が汚れている。	汚れを取り除いてください。	○			
水が止まらない	既設フラッシュバルブ 内部及びピストンバルブに異物が詰まっている。	フラッシュバルブ 及びピストンバルブの清掃もしくは交換してください。	○		P.13(図7)
	リード線コネクタが外れている。	コネクタを接続してください	○		P.9(図3)
	リード線が断線している。	部品を交換してください。		○	P.15 (交換部品①③⑤)
	電磁バルブに異物が詰まっている。	電磁バルブ内部の異物を取り除いてください。	○		P.13(図8)
	電磁バルブ部の劣化。	部品を交換してください。		○	P.13(図8)
	センサー回路部の異常。	リセットして直らない場合は交換してください。	○	○	P.15(交換部品①)
水が勝手に流れる	人体センサーの調整が長すぎて壁もしくは扉を感知したり、しなかったりしている。	人体センサー感知距離を少し短く設定し直してください。	○		P.12(図4)
	自動洗浄がはたらいていません。	<ul style="list-style-type: none"> • 使用者が120秒以上滞在していると使用後(人体センサーから外れると)自動洗浄します。 • 滞在時間が120秒未満でもその間に1回も任意洗浄がされていないと使用後自動洗浄します。 • 完全自動機能がONに設定されていれば滞在時間に関係なく使用後に自動洗浄します。 • 24時間一度も使用しないと設備保護の為自動洗浄します。 		正 常	

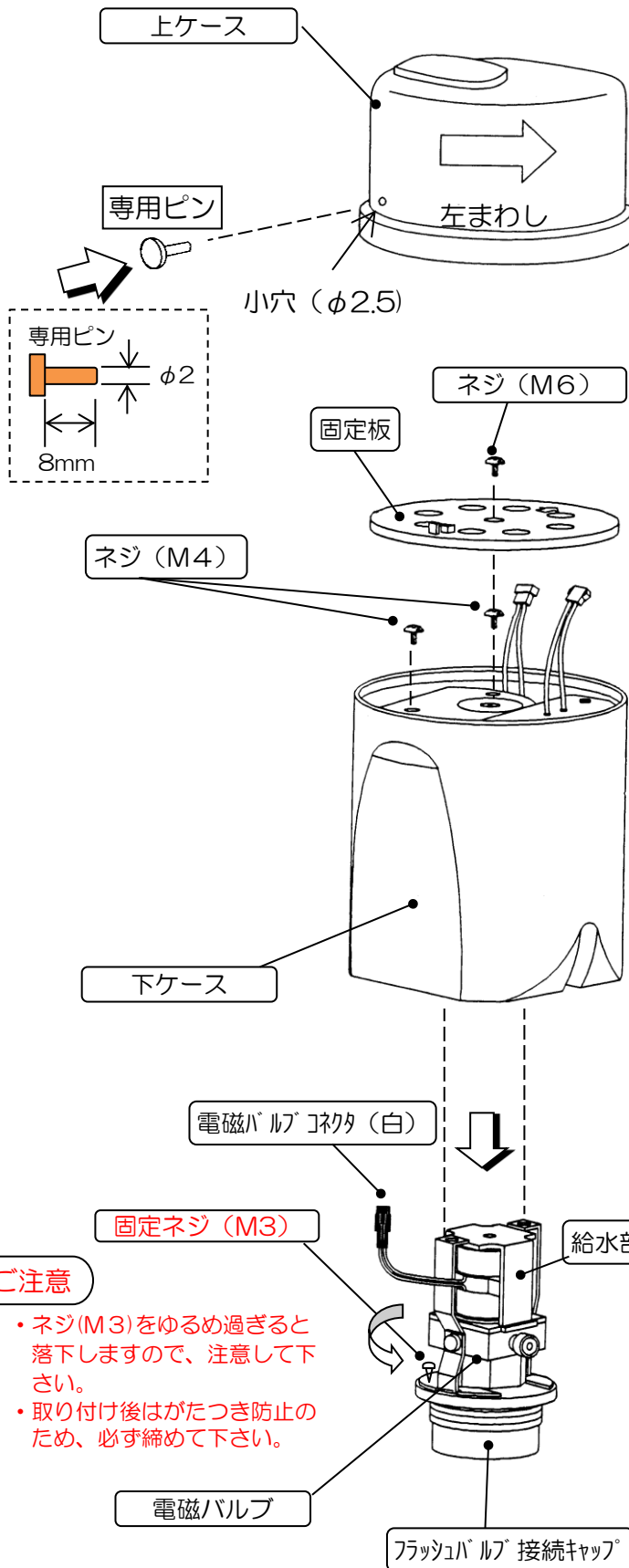
現象	原因	処置方法	対応方法		備考
			点検	交換	
自動洗浄しない	人体センサーの調整が長すぎて壁もしくは扉を感知している/短すぎて人体を感知していない。	使用者が座った位置で赤ランプが点灯（1秒間）するように調整ください。	○		P.12(図④)
	人体センサーの角度がずれている。	センサー角度を調整してください。	○		P.12(図⑤)
水量が多い/少ない	電磁バルブ開放の設定時間が短い。（長い）	小6号大12号になるよう調整してください。	○		P.11(図③)
	水圧が弱い。（高い）	電磁バルブ底面の水量調整ネジで水量を調整してください。	○		P.11(図③)
手触りが鈍い	二重洗浄禁止機能が働いている。	設定時間（10秒or20秒）の間隔をあけて操作してください。	正 常		
	センサー窓が汚れている。	汚れを取り除いてください。	○		
黄色ランプ点滅	電池が消耗している。	電池を交換してください。（型式CR-P2）		○	P.10(図①②)
	取付時のリセット不十分。（取付後2週間以内）	リセットしてください。	○		P.10(図②)
赤色ランプ点滅する	<ul style="list-style-type: none"> 初期調整不良。 人体センサーの調整が長すぎて壁もしくは扉を感知したり、しなかったりしている。 	感知対象物を取り除いてください センサー距離の調整をしてください。	○		P.12(図④⑤)
人体感知しない/赤色ランプ	<ul style="list-style-type: none"> 初期調整不良。 人体センサーの調整が長すぎて断続的に扉を感知している。 	使用者が座った位置で赤ランプが点灯（1秒間）するように調整ください。	○		P.12(図④⑤)
水もれ	排水パイプの六角ナットの締め付けが緩んでいる。（内部のパッキンが劣化している。）	六角ナットを締めてください。（パッキンが劣化している場合はパッキンを交換してください。）	○	○	P.14(図⑨)
	排水パイプの接続口（給水部ネジ）が破損している。	接続口（給水部ネジ）の部品を交換してください。		○	P.14(図⑧⑨)

～ お 願 い ～

- 本体の電源はリチウム電池（メーカー：TOSHIBA 型式：CR-P2）を使用しております。
- リチウム電池は100人/日使用で約2年の寿命となります。
- 定期的に本体センサー部に黄色ランプが点滅していないか確認して下さい。（黄色ランプが点滅している場合は電池を早めに交換して下さい。）

5.給水部の取付け・取外し方

図① 給水部の外し方



①上ケースは内部でロックされています。上ケース後ろ側の小穴に、付属の専用ピンを差し込み、押しながら上ケースを左に回すと外れます。ない場合は、細い六角レンチでも代用できます。

②固定板は、中央のネジ(M6) 1本により取り外せます。

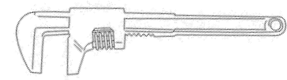
③給水部は、ネジ(M4) 2本により取り外せます。

④左図の固定ネジ(M3)をゆるめると給水部と下部のフラッシュバルブ接続キャップの回転止めが解除されます。

ご注意

- ネジ(M3)をゆるめ過ぎると落下しますので、注意して下さい。
- 取り付け後はがたつき防止のため、必ず締めて下さい。

⑤電磁バルブとフラッシュバルブを外す場合はモーターレンチ若しくは専用工具(ご依頼時支給)が必要です。



専用工具



図② 給水部の取り付け方

【電磁バルブ組立、排水パイプ組立の取り付け方】

- (1) 電磁バルブを本体内部より取り外します。(P.7図①参照)
- (2) 既設のフラッシュバルブの止水栓を閉めます。参考図①
- (3) 既設のフラッシュバルブの上部キャップをモーターレンチを使用して外します。参考図②
- (4) 電磁バルブを既設のフラッシュバルブに取り付け、モーターレンチをキャップのスパナ掛け部に差し込んで確実に閉めます。参考図③
※性能を十分に発揮するためにもピストンバルブを新品に交換することをお勧めします。
- (5) 既設のフラッシュバルブ横のハンドルを外します。参考図④
- (6) 付属の排水パイプ組立を取り付けます。参考図⑤
六角ナット部には、Oリング（小）、袋ナット部にはOリング（大）を使用します。
(給水部ネジの位置は、任意の位置に回転できます。取付の際は、排水パイプの位置に合わせてください)
- (7) 給水部のネジ（M3）を締め込み、電磁バルブを固定します。参考図⑥

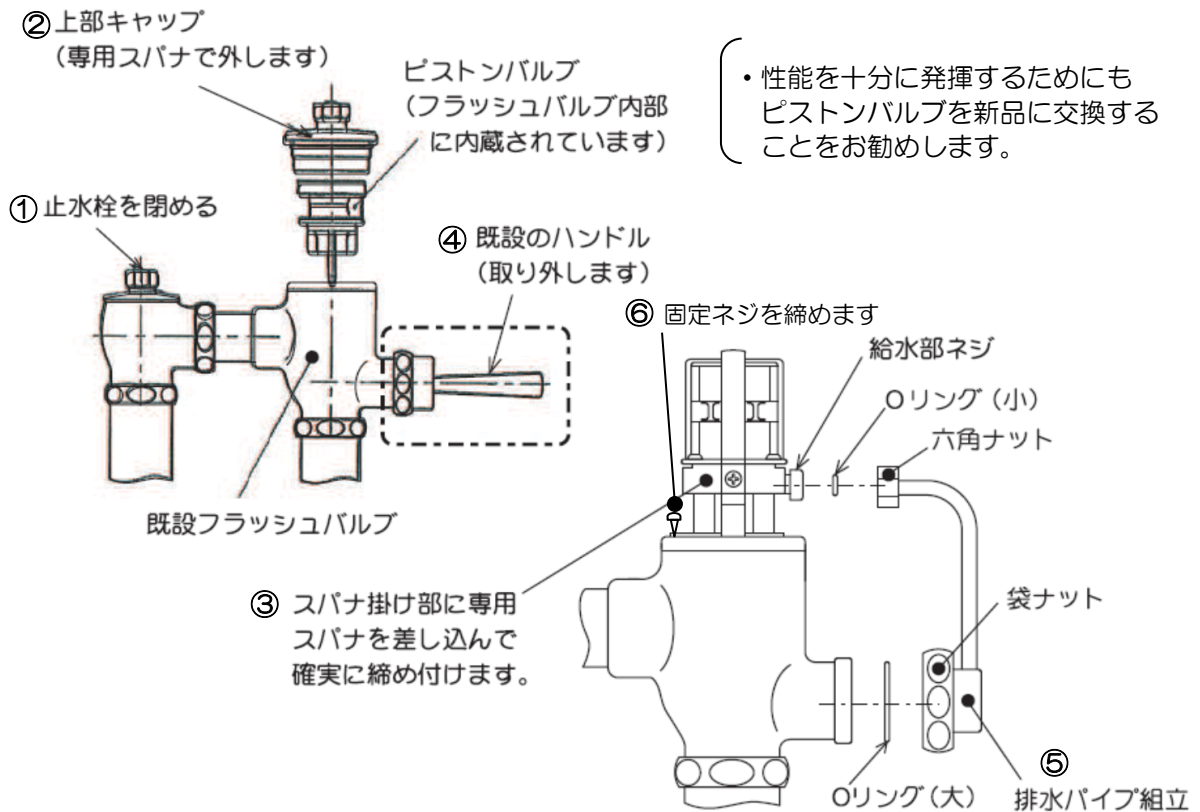
お願い

- ・付属の排水パイプ組立の六角ナットの締め付けは、手で締めてから軽くスパナで増し締めしてください。あまり強く締め付けしないでください。

確認

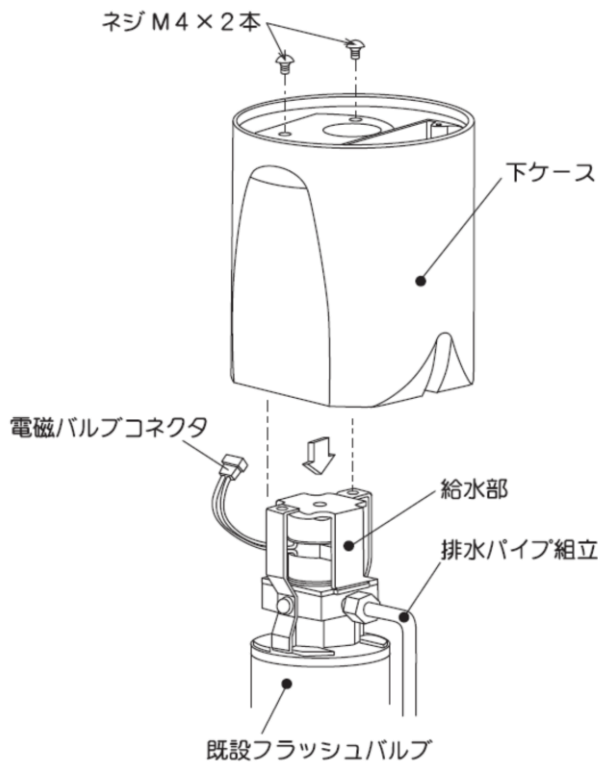
- ・既設フラッシュバルブの止水栓を開け、各部の水漏れがないことを確認してください。

【参考図】

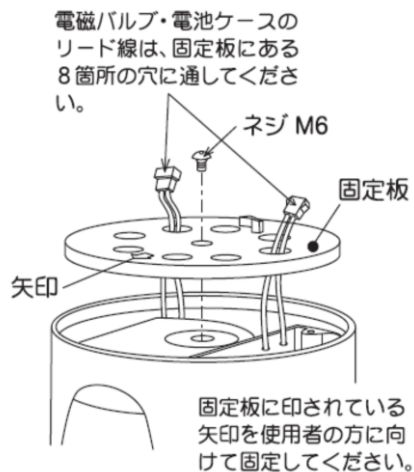


図③ 上・下ケースの取り付け及び配線

(1) 給水部に下ケースを2本のネジで取り付けます。



(2) 下ケースに固定板を取り付けます。
(ネジM6 1本)



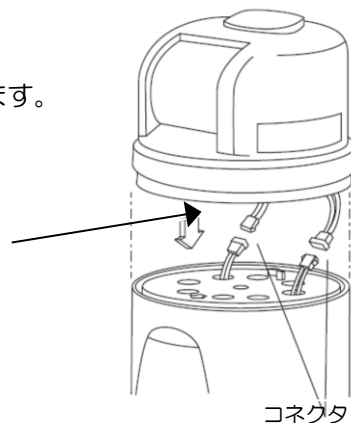
お願い

- 電磁バルブ、電池ケースのリード線が噛みこまないように注意してください。

(3) 回路ケースと電磁バルブ・電池ケースのコネクタを接続します。
コネクタの色を合わせ、間違いの内容に注意してください。

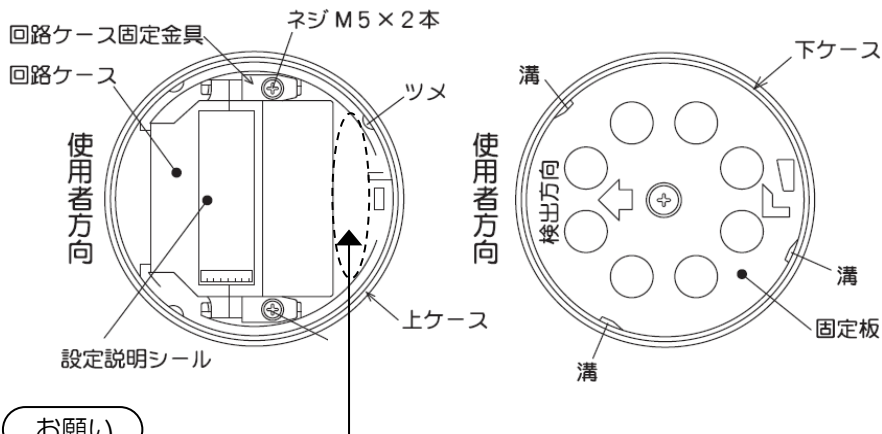
黒・・・電源線、白・・・電磁バルブ線

回路ケースから出ているコネクタと電磁バルブ・電池ケースからのコネクタを接続します。



(4) 上ケースを下ケースに取り付けます。

上ケースのツメ (3カ所) と下ケースの溝 (3カ所) を合わせてはめ込み、時計回り方向に「カチッ」と音がするまで回し、固定します。(下図参照)



お願い

- 上ケースをはめる際、コネクタ部を上ケースに収納させ、リード線を噛みこまないように注意してください。

6.給水部の取り付け

図① 電池交換の方法

電池交換完了後は必ずリセットスイッチを押して下さい

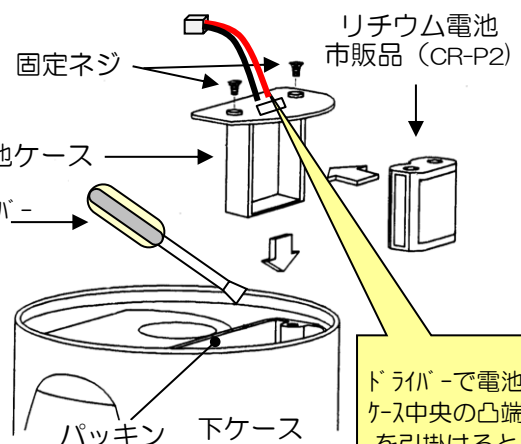
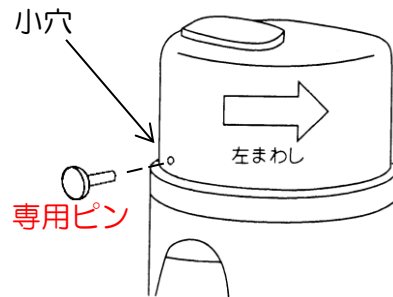
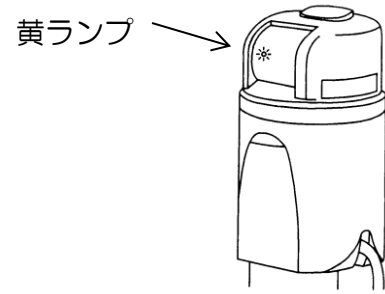
- 電池の寿命が近づくと、黄色ランプが3秒間隔で点滅を繰り返しますので早めに電池交換をしてください。
- 電池の交換は、市販のリチウム電池(CR-P2)を使用してください。

作業手順

- ①上ケースを下ケースから外します。
 - 上ケース後ろ側の小穴に、付属の専用ピンを差し込み、**押しながら上ケースを左に回す**と外れます。
- ②接続されているコネクタ(白・黒)を外します。
- ③下ケース中央のネジを外し固定版を取り外します。
- ④電池ケースを下ケースから外します。
 - 2箇所固定ネジを外し上に引上げてください。
 - ドライバーで電池ケース中央にある凸溝を引っ掛けると外れます。
 - 無理にコードを引っ張らないでください。断線する危険があります。
- ⑤電池ケースにリチウム電池を新品に入れ替えます。
 - 電池の極性に気をつけてください。
- ⑥元のように下ケースに電池ケースを取り付けます。
- ⑦固定版を取り付けます。
- ⑧コネクタを接続します。
- ⑨必ずリセットスイッチを押してください。
 - 電池交換後、黄色ランプが点滅した場合は、再度リセットスイッチを押してください。
- ⑩上ケースを元のように取付けます。

ご注意

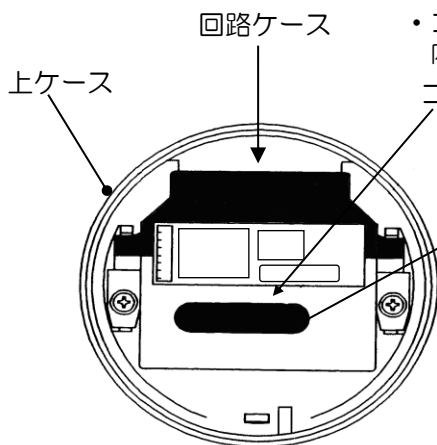
- 下ケースにあるパッキンは、確実にパッキン用溝に入れてから電池ケースを取り付けてください。不確実な場合、電池ケース破損につながります。



ドライバーで電池ケース中央の凸端を引っ掛けると外れます。

図② リセットの方法

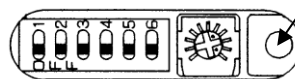
設定変更等、機器を調整した場合は必ずリセットをして下さい



上ケース裏側

- ゴムキャップを外すと内部に各スイッチがあります。

拡大



- リセットスイッチを先端の細いもので軽く押します。(大洗浄が始まり終了と同時に赤ランプが点灯し、消灯すると完了です。)

ご注意

- リセットをする際、センサーの前に感知対象物(手や体、壁)がないことを確かめてください。
 - 感知対象物があると赤ランプが点灯したまま、不動作になります。
 - 例: リセット時にセンサーを体に向けたままの場合、又はセンサーをすぐ近くの壁に向けたままの場合など
- ※センサーの前に感知対象物がない状態で再度リセットスイッチを押してください。

図③ 水量調整の方法

設定変更後は必ずリセットスイッチを押してください。

1. 洗浄時間の設定変更方法

リセットスイッチを押した後、赤ランプと黄ランプが同時に点灯し、大洗浄が流れるとセット完了です。

【調整の目安】

①工場出荷時には、小水量洗浄時間2秒、大水量洗浄時間7秒に設定してありますが、給水圧力により洗浄水量が少なかったり、多い場合がありますので、下記を目安に設定してください。

・小洗浄水量（6～8リットル） 【DIP3, DIP4】

給水圧力[MPa]		0.1	0.2	0.3	0.4	0.6	0.75
設定時間	EET-605T型	3秒	3秒	2秒			
	EET-605N型	4秒	3秒	2秒			

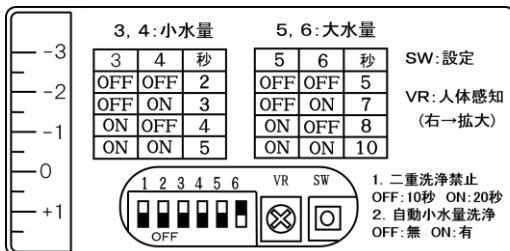
・大洗浄水量（10～13リットル） 【DIP5, DIP6】

給水圧力[MPa]		0.1	0.2	0.3	0.4	0.6	0.75
設定時間	EET-605T型	10秒	8秒	7秒	7秒	5秒	5秒
	EET-605N型	10秒	10秒	7秒	7秒	7秒	5秒

②給水圧力が0.3MPa以上の場合、設定時間が最小でも洗浄水量が多くなることがあります。この場合、フラッシュバルブの止水栓を絞るか、次項の「2. 洗浄水量の設定変更方法」に従って、水量調整ネジの位置を調整してください。

【設定スイッチの配列と機能】

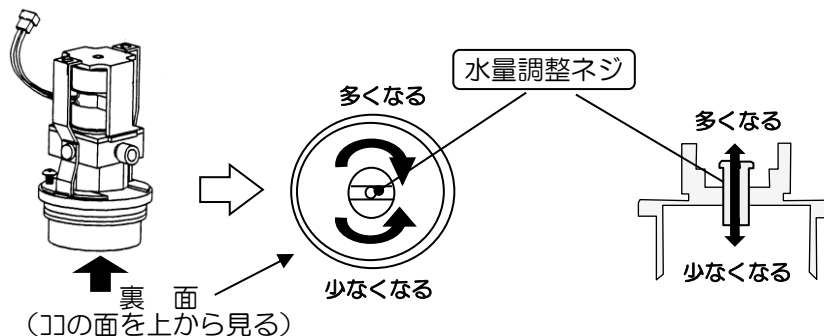
工場出荷時、DIP6のみONにしています。



スイッチ	設定機能	機能説明
DIP1	二重洗浄禁止 時間切替	手感知による洗浄禁止時間を設定します。設置時間内、水を流しません。
DIP2	自動小水量 洗浄切替	スイッチ2がONの時、人体感知後、小洗浄時間内に任意洗浄を行って、退室した場合でも退室後、自動小洗浄を行います。OFFの時は、自動小洗浄は行いません。
DIP3 DIP4	小水量洗浄 時間設定	人体感知に関係なく使用者が任意洗浄をした場合、小水量洗浄をします。
DIP5 DIP6	大水量洗浄 時間設定	人体感知センサーが連続して100秒以上感知した場合は、手感知の洗浄有無に関係なく使用者が立ち去った後、大水量洗浄を行います。

2. 洗浄水量の設定変更方法

- ①フラッシュバルブ接続キャップの水量調整ネジを回すことにより調整できます。
- ②洗浄水量は右回転で多く、左回転で少なくなります。



【調整の目安】

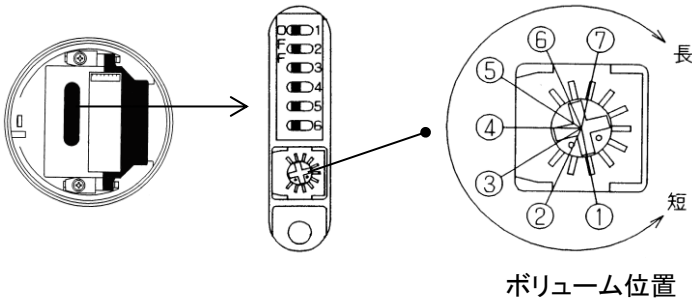
- ①工場出荷時には、水量調整ネジ位置を調整してありますが、洗浄時間設定を変更しても水量が変化しない場合は、水量調整ネジを調整してください。
- ②水量調整ネジは回し過ぎると水の勢いの変化したり、水量設定ができなくなることがありますのでご注意ください。(1回転で約2㍓増減します。)

図④ 人体検出センサーの調整方法

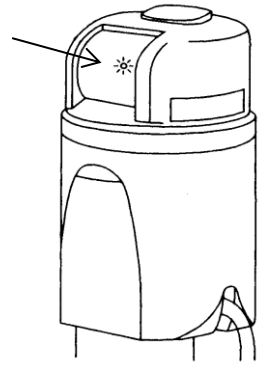
- 使用者が座った位置で赤ランプが点灯(約1秒)するようにボリュームを調整します。
- 人体検出位置は、ボリュームを右に回すと長くなり、左に回すと短くなります。

調整目安

- 工場出荷には人体検出位置を約60cmに設定してありますが、赤ランプが点灯しなかったり対向の壁を検出している場合は、表を目安に調整してください。



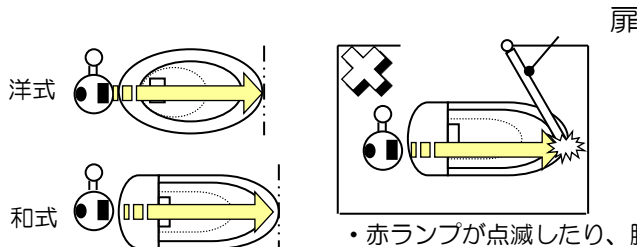
赤ランプ



目盛	人体検出位置 (センサーから人体までの距離)
①	約 30cm
②	約 40cm
③	約 50cm
④	約 60cm
⑤	約 70cm
⑥	約 85cm
⑦	約 100cm

※距離は目安です。

調整イメージ



- 便器の端で赤ランプが点灯するように調整ください。

- 赤ランプが点滅したり、勝手に水が流れる場合はセンサー距離を短く調整してください。扉など感知している場合があります。

お知らせ

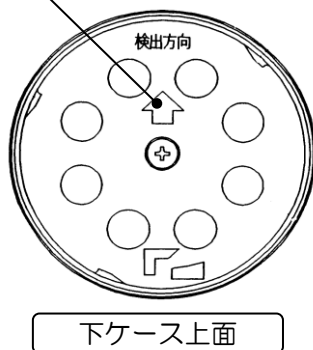
- 赤ランプが点灯したままの場合は、感知対象物を取り除くか、ボリュームで人体検出位置を短くしてください。
- 上表はA4サイズ 白紙を対象物とした場合の距離です。

お願い

- ボリュームは、細いドライバーなどで少しずつ回して調整ください。
- ボリュームに無理な力を加えないでください。

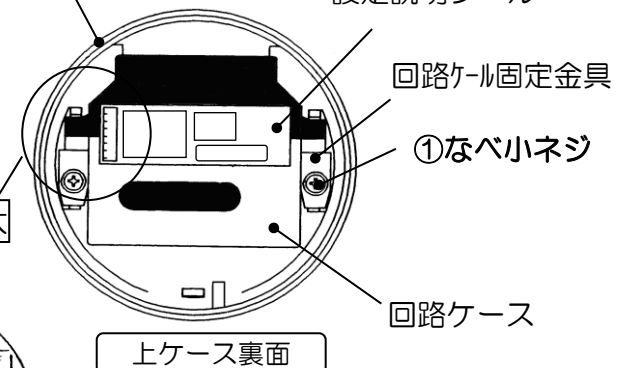
図⑤ 人体検出センサーの角度調整方法

矢印を使用者(便器の中心)の方へ向ける



上ケース

設定説明シール



拡大

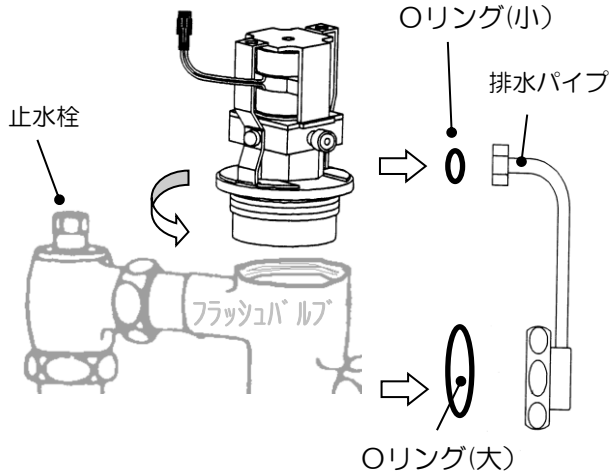


- ①のネジを緩めセンサー角度を設定説明シールの目盛と突起印を合わせて調整してください。

(例) 目盛-1 = 下向き10°
目盛+1 = 上向き10°

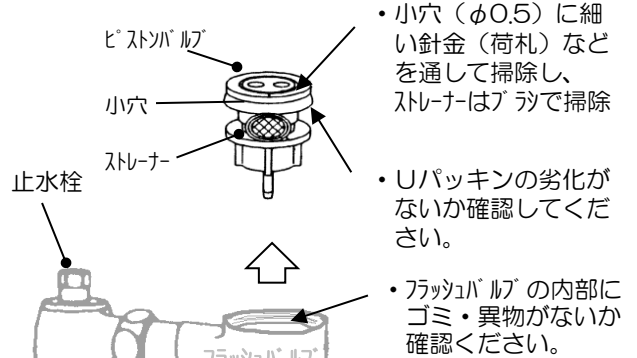
図⑥ 電磁バルブの外し方

- 5. 図① 給水部の外し方を参照して、本体を分解し排水パイプを外します。
- モーターレンチ又は専用工具を使用し、電磁バルブを左に回すと外れます。
- 外れにくい場合は、キャップを軽くたたいたり、オイルスプレーをすると外れやすくなります。



(注) 作業する際は、必ず止水栓を閉め、水が流れないことを確認してください。

図⑦ ピストンバルブの点検



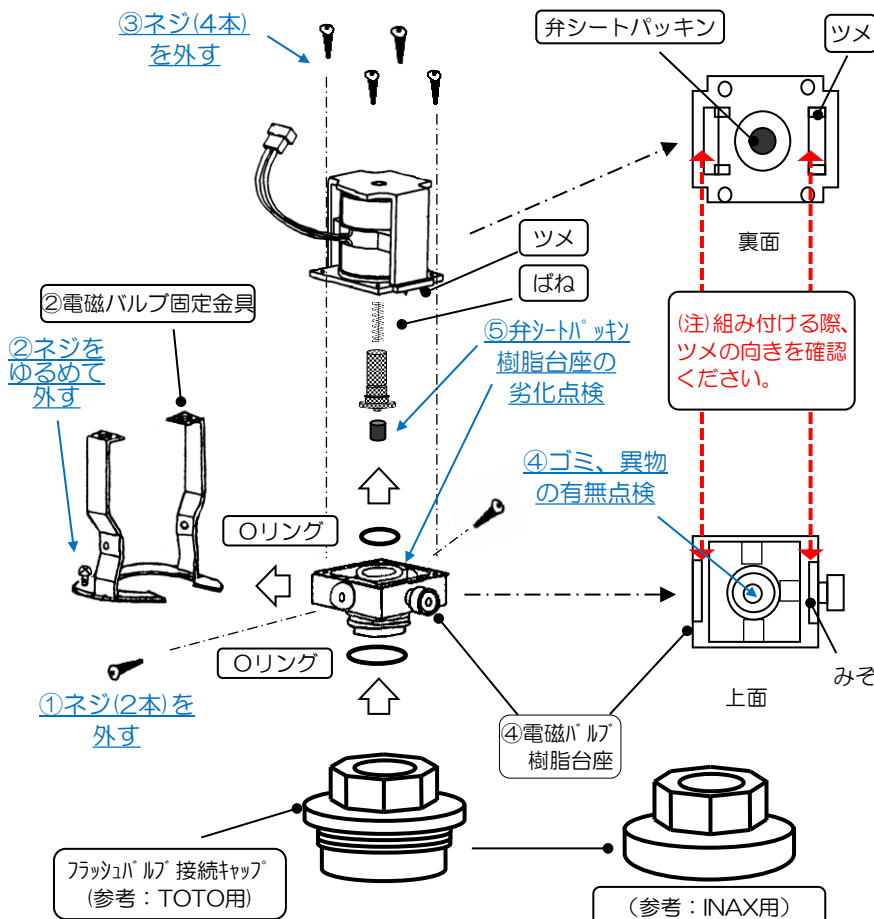
- 小穴 (φ0.5) に細い針金 (荷札) などを通して掃除し、ストレーナはブラシで掃除
- Uパッキンの劣化がないか確認してください。
- フラッシュバルブの内部にゴミ・異物がないか確認してください。

お願い

- ピストンバルブは普通型をご使用ください。
型式：TOTO：THY320
INAX：A-580
それ以外では水が流れない(止まらない)原因となります。

(注) 作業する際は、必ず止水栓を閉め、水が流れないことを確認してください。

図⑧ 電磁バルブ点検方法



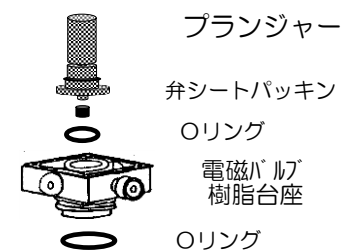
【手順】

- ①電磁バルブ 固定金具の横ネジ (2本)を外す。
- ②回転止めネジをゆるめ、電磁バルブ 固定金具を外す。
- ③電磁バルブ 上部ネジ (4本)を外す。
- ④電磁バルブ 樹脂台座の上面にゴミ・異物がないか点検。
- ⑤弁シートパッキンの劣化、樹脂台座の劣化がないか点検。

(注) 組み付ける際、ツメの向きを確認してください。

※⑤で部品が劣化している場合は部品を交換ください。

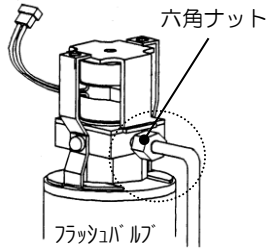
【消耗品セット】 P15⑨参照



取付方法詳細は、「電磁バルブ部消耗品交換方法」参照。

図⑨ 排水パイプの点検方法

水もれ

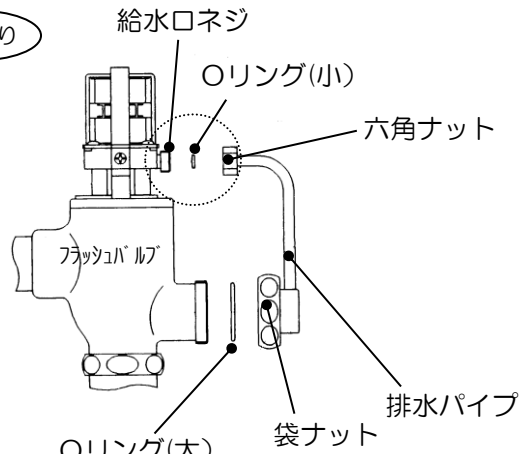


・六角ナットと接続口(給水口ネジ)のつなぎ目より水がもれている場合は次の要因が考えられます。

- ・接続口部分が破損している。
- ・六角ナット内部のOリング(小)が劣化している。

(注) 作業する際は、フラッシュバルブの必ず止水栓を閉め、水が流れないことを確認してください。

目詰まり

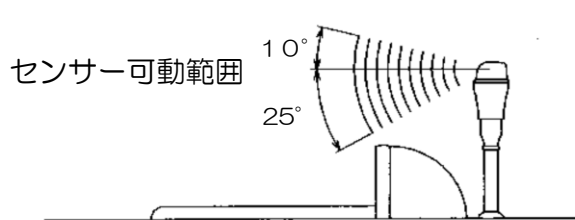


・排水パイプ内部にゴミ・異物がないか確認してください。

(注) 取り付け時、強く締めすぎるとOリングのねじれ、歪み等で水漏れが発生する可能性があります。強く締めすぎないでください。

図⑩ 標準取付図

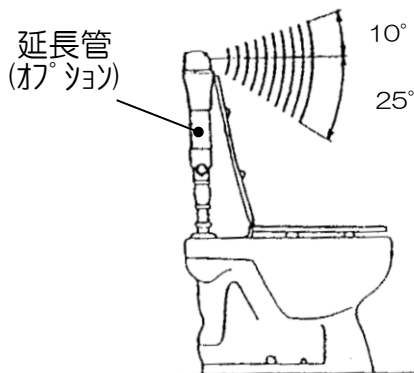
和 式 便 器 の 場 合



お知らせ

・和式便器の前給排水の場合はセンサー角度は0°が適当です。

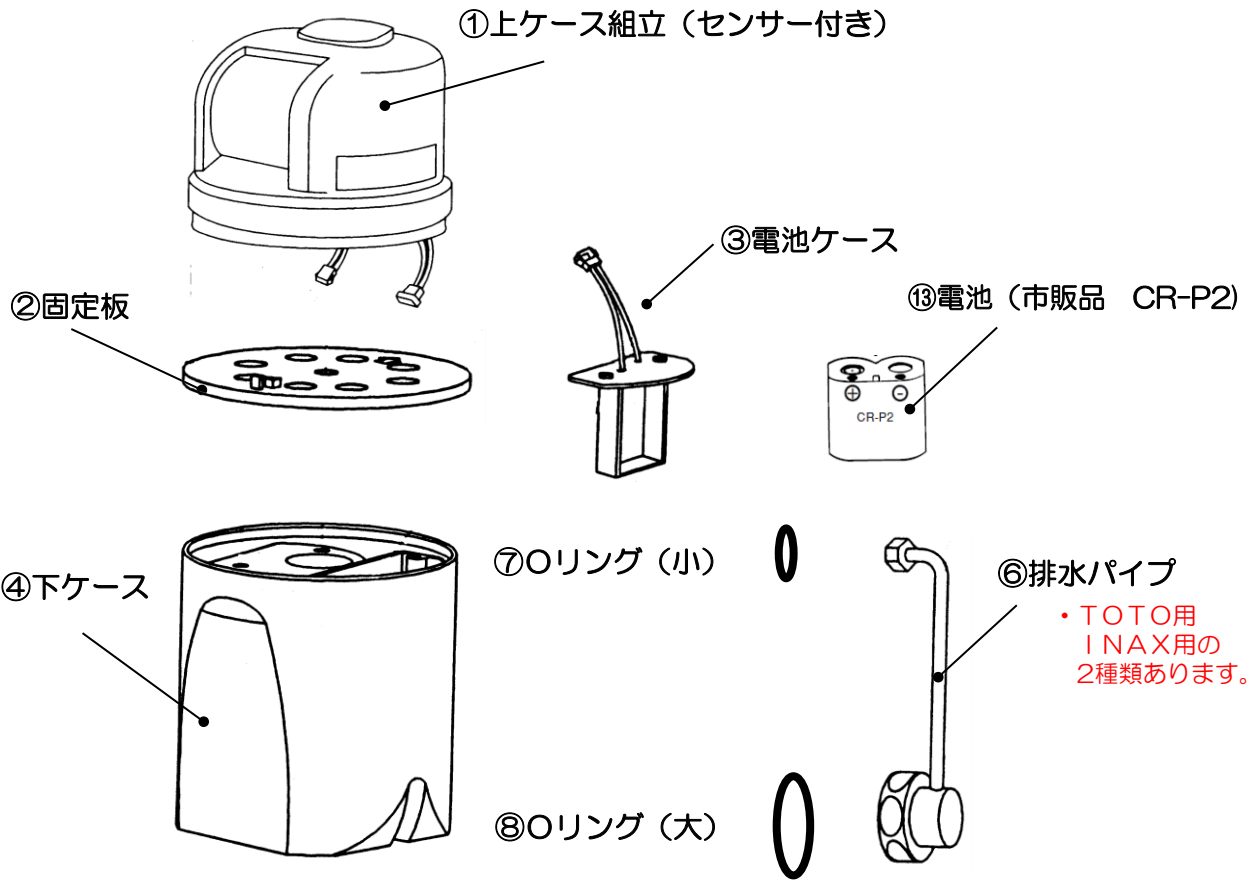
洋式便器(オプション使用)の場合



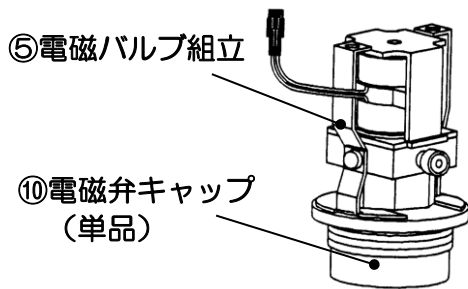
お知らせ

・洋式便器の場合はセンサー角度は下向き(5~10°)が適当です。
 ・延長管(オプション)使用で10cm高さを延長できます。
 延長管を使用しても便蓋にセンサーが隠れる場合は、蓋を取り外してください。

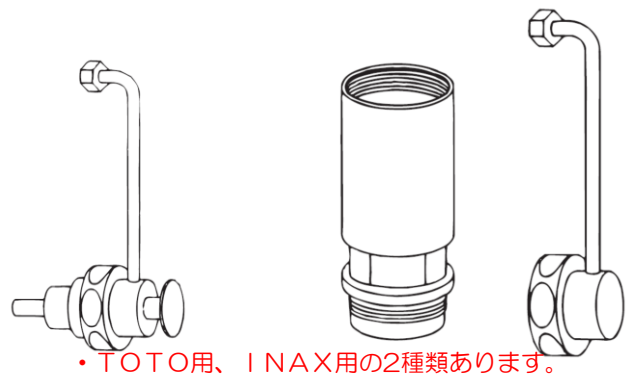
7. 交換可能部品一覧



・TOTO用、INAX用の2種類あります。

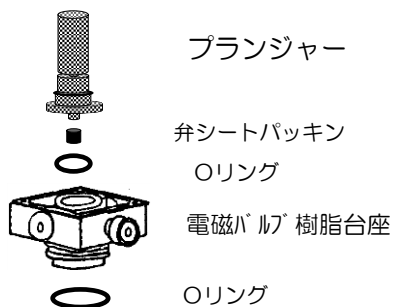


⑪押しボタン付き排水パイプ ⑫洋式トイレ用延長管
※⑥の押しボタンタイプ



⑨消耗品セット (プランジャー付)

・電磁バルブ内部の消耗品セットです



図番	部品名	備考
①	上ケース組立	センサー付き
②	固定板	センサーの向きを固定
③	電池ケース	
④	下ケース	
⑤	電磁バルブ組立	TOTO/INAXあり
⑥	排水パイプ	TOTO/INAXあり
⑦	Oリング (小) 10Pセット	
⑧	Oリング (大) 5Pセット	
⑨	消耗品 (プランジャー付)	電磁弁内部の部品
⑩	電磁弁キャップ	TOTO/INAXあり
⑪	押しボタン付き排水パイプ	TOTO/INAXあり
⑫	洋式トイレ用延長管	TOTO/INAXあり (INAXの場合、本体はTOTO用を使用)
⑬	電池 (CR-P2) ※市販品	カメラ用リチウム電池

8.オプション一覧

押しボタン付き排水パイプ

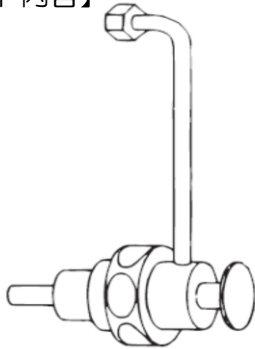
品 番

EET-102T (TOTO用)

EET-102N (INAX用)

- 電源切れ等により、水が流せなくなった場合、押ボタンを押すと水を流すことができます。

【セット内容】



押しボタン付き排水パイプ



非常用シール

水が流れないときはフラッシュバルブ横の非常用ボタン（青）で水を流せます。

説明シール

洋式トイレ用延長管セット

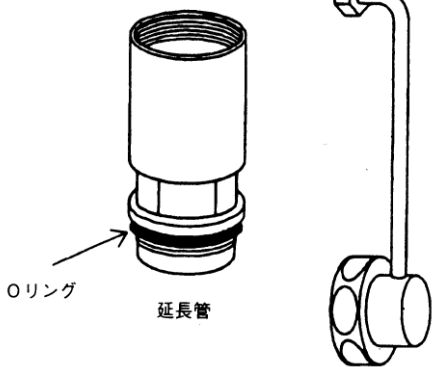
品 番

EET-101T (TOTO用)

EET-101N (INAX用)

- 洋式トイレに取り付ける場合、便座の蓋よりも上に10cm伸ばすために使用します。

TOTO用

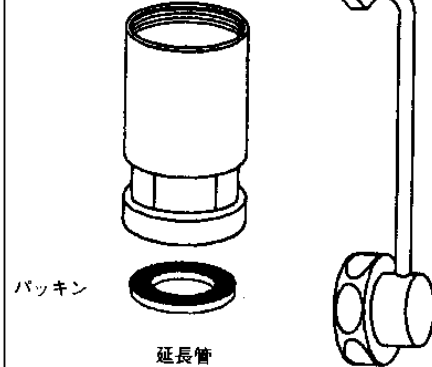


Oリング

延長管

排水パイプ組立

INAX用

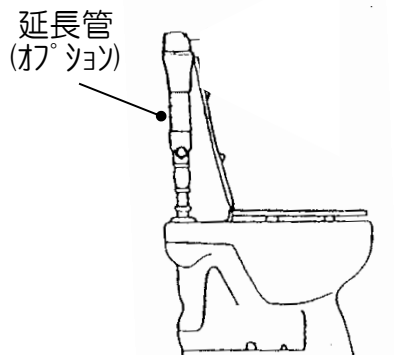


パッキン

延長管

排水パイプ組立

(取付例)



延長管
(オプション)

ご注意

INAX用の延長管を使用する場合
本体（センサレット）はTOTO用
になります。（型式：EET-605T）